

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
幼児体育	2	後期	演習	1	伊達 幸博
○ 授業の到達目標					
<p>1. 体育実技で学んだ内容をさらに深め、子どもにとっての運動遊びとは何か、また、運動遊びの指導の進め方を習得する</p> <p>2. 単に動きの指導や遊びを教える指導にとどまらず、心身の発達を視野において保育活動の一環としての運動遊びの指導の実践力を高める。</p>					
○ 授業の概要					
<p>現代では子どもは生活様式や遊びの変化により、からだを動かす機会が少なくなり、こどもの体力低下が社会的課題となっており、本来、乳幼児・児童期に日常での遊びや生活で得られた基礎的な体力や運動能力が養われない状況にある。このような社会環境の変化により、以前よりも保育者として運動遊び時間の指導力が求められている。子どもが自主的・主体的に楽しめる運動遊び内容を構想したり、運動遊びの知識・技術を身につけ実践し、それらの活動を振り返ったりする中から課題を見つけ、解決のための方法について検討しながら、保育実践力を身につける。</p> <p>なお、本科目はレクリエーション・インストラクター資格取得にかかわる。</p>					
○ 授業計画					
<p>第1回 オリエンテーション、アイスブレイキング、徒手体操、移動運動</p> <p>【事前学修】シラバスを確認して授業の概要等を確認するとともに、教科書に目を通して調べ学習をする。</p> <p>【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。</p>					
<p>第2回 アイスブレイキングの習得、移動運動の構成と動きの習得</p> <p>【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。</p> <p>【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。</p>					
<p>第3回 用具を使わない素手の運動遊びの理論と展開方法</p> <p>【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。</p> <p>【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。</p>					
<p>第4回 手や足で扱える用具を用いた運動遊びの理論と展開方法</p> <p>【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。</p> <p>【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。</p>					
<p>第5回 運動遊びの指導案（プログラム）作成と実践発表</p> <p>【事前学修】調べ学習を通じ、指導案の概略をまとめておく。</p> <p>【事後学修】発表内容について、評価と改善をノート等にまとめる。</p>					
<p>第6回 固定してある施設の器具を利用した運動遊びの理論と展開方法</p> <p>【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。</p> <p>【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。</p>					
<p>第7回 運動遊びにおけるホスピタリティ</p> <p>【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。</p>					

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第8回 模擬保育に向けた指導内容の検討と指導案（プログラム）作成

【事前学修】調べ学習を通じ、指導案の概略をまとめておく。

【事後学修】理解が不十分な内容について、教科書やインターネット資料を検索して学びを深めるとともに実践に向けた改善をおこなう

第9回 模擬保育に向けた指導実践の発表 I

【事前学修】内容のシュミレーションを含め、教材準備をおこなう。

【事後学修】発表内容について、評価と改善をノート等にまとめる。

第10回 模擬保育に向けた指導実践の発表 II

【事前学修】内容のシュミレーションを含め、教材準備をおこなう。

【事後学修】発表内容について、評価と改善をノート等にまとめる。

第11回 幼児を対象としたニュースポーツの理論と展開方法

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第12回 集団運動遊び

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第13回 運動会種目、ダンス・トラックゲーム・フィールドゲーム

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第14回 幼児コーディネイトレーニングの理論とプログラム習得

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第15回 親子体操指導の習得

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

○ 教員の実務経験と授業の関連

小学校、高等学校での保健体育に携わった経験と、高等教育委機関、社会体育の現場で幼児～大学生までの体操指導に携わった経験を活かし、安全に配慮しながら教授する。

○ テキスト

「楽しさをおとした心の元気づくりーレクリエーション支援の理論と方法ー」公益財団法人 日本レクリエーション協会

「幼児期運動指針ガイドブック」

https://www.next.go.jp/a_menu/sports/undousisin/1319772.htm

○ 参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省．フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」

（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館

「幼児体育理論と実践」前橋 明編集代表．大学教育出版

「幼児期における 運動発達と運動遊びの指導」 杉原隆、河邊貴子．ミネルヴァ書房

「保育と幼児期の運動あそび」 岩崎洋子 他 萌文

「幼児体育指導者検定公式テキスト2・3級」 公益財団法人 日本幼少年体育協会．タイケン出版

○ 学生に対する評価

授業への参加態度30%、定期試験50%、課題レポート20%を総合的に評価する。